

浜の活力再生プラン
令和 6 年度～10 年度
第 3 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	兵庫県地域水産業再生委員会 南淡漁協部会 ID (1122004)
代表者名	橋本昌和 (南淡漁業協同組合 代表理事組合長)

再生委員会の構成員	南淡漁業協同組合 南あわじ市 (水産振興課) 兵庫県淡路県民局 (洲本農林水産振興事務所)
オブザーバー	兵庫県漁業協同組合連合会

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>【地域の範囲】南あわじ市 南淡漁業協同組合</p> <p>【漁業の種類】機船船びき網漁業 3 共同経営体 (11 名) 小型底びき網漁業 3 経営体 (3 名) 刺網漁業 15 経営体 (16 名) 定置網漁業 3 経営体 (3 名) 一本釣り漁業 17 経営体 (17 名) たこつぼ・雑魚かご漁業 11 経営体 (11 名) のり養殖業 2 経営体 (6 名) (* 1 組合員漁業種類複数あり) 令和 5 年 4 月 1 日現在</p>
-------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>当部会の地域は、兵庫県の南部、淡路島最南端に位置し紀伊水道に面しており、四季を通じて多種多様な水産物が水揚げされている。</p> <p>令和 4 年度の当組合の水揚金額については、船びき網漁業 (3 共同経営体) が 45.7%・のり養殖業 (2 経営体) 25.9%・定置網漁業 (3 経営体) 11.8%・刺網漁業 (15 経営体) 10.6%・小型底びき網漁業 (3 経営体) 2.2%・その他 3.8% となっている。</p> <p>しかしながら、近年の海洋環境の変化等により、漁獲量の減少、魚価の低迷、それに加え燃油・資材価格の高騰で漁業経営が非常に困難な状況になっている。</p> <p>今後の課題として、最も深刻となっているのが、漁獲量の減少、漁業従事者の高齢化と人材不足、燃油等の経費増大による収益性の悪化である。特に経営基盤の脆弱な沿岸漁業では、漁業者が自律的に経営力を強化し収益性を向上していく事がとりわけ重要であり、誰かからの押し付けや依存でなく、主体的に経営力を強化していくための工夫が求められる。</p> <p>このため、持続的な漁業の構築に向けて、漁獲物の品質向上・資源管理計画・漁業後継者・種苗放流等に漁業者が一丸となって取り組む必要がある。</p>

(2) その他の関連する現状等

<p>○当地域は、淡路島南端に位置し、島内他地域に比べ消費地への流通条件が不利なことから、地元市場の仲買業者が少数で競争原理が希薄なため魚価が抑えられている。</p> <p>○当地域は、高齢化や人口減少が進み、地域経済を支えている漁業が衰退することにより、地域の活気も失われつつある。このため漁業を再生することにより地域全体の繁栄を取り戻す必要がある。</p> <p>○当地区には、漁港が 3 か所ありそれぞれに施設が備え付けられているが、老朽化が進み維持管理費が嵩み組合経営に支障をきたしている。(製氷機・上架施設 (レール)・水槽冷却器等)</p>
--

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>1 漁業収入向上のため</p> <p>(1) 漁獲物の品質向上</p> <p>① 底曳き網・刺網・定置網漁業について、漁業者は漁協等の指導を受け出荷時の選別、鮮度保持等の品質管理の徹底を実施し魚価の向上を図る。</p> <p>② 船曳網漁業については、鮮度が落ちやすい為、1回の作業時間の短縮・漁獲直後の冷却で鮮度保持を徹底する。</p> <p>③ のり養殖漁業については、食害防止により、生産性向上と生産枚数の増加を図ることで経営体質の強化を図る。</p> <p>(2) 資源管理による生産量の拡大</p> <p>① アオリイカ産卵床と産卵用たこつぼ設置で水産資源増大を図る。</p> <p>② 南浦地域漁業振興対策基金の協力でマダイ、ヒラメ等の有用種を放流し資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 地元消費の拡大</p> <p>① 地元民宿・美菜恋来屋へ鮮魚等の出荷・販売を行い消費拡大に努める。</p> <p>2 漁業コスト削減のための取組</p> <p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>① 漁業者は、減速航行に努めるほか定期的な船底清掃を徹底し使用する燃油量の削減を図る。</p> <p>② 省エネ型漁船、省エネ機器導入を計画的に推進する。</p> <p>③ のり養殖業は、大型のり自動乾燥機を更新し、加工に係る光熱費等の削減を図る。</p> <p>(2) 漁業資材のコスト削減</p> <p>① 漁業者が協力して、漁業資材のまとめ買い、組合施設等の共同利用をすることによりコスト削減を図る。</p> <p>(3) 漁業経営セーフティネット他加入促進</p> <p>① セーフティネット構築事業への加入を促進する。</p> <p>② 漁獲共済積立プラスへの加入を促進する。</p> <p>3 漁村の活性化のための取組</p> <p>(1) 漁業後継者の育成と確保</p> <p>① 漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るための兵庫県漁協青壮年部連合会等への参加に努める。</p> <p>② 漁業後継者確保の取組を引き続き行う。</p>
--

(3) 資源管理に係る取組

<p>(1) 兵庫県が認定した資源管理協定に基づく自主的資源管理措置の実施による資源保護 (兵庫県瀬戸内海地区における南淡漁業協同組合の資源管理協定)</p> <p>(2) のり養殖漁業 兵庫県のり養殖漁場改善計画、のり生産に関する基本方針などに則って実施、又は遵守する。</p>
--

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和6年度） 所得向上率（基準年比3.3%）

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の品質向上</p> <p>① 漁獲物の品質向上について、活魚・鮮魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分類し、活魚のへい死がでないようブローアを入れ水温調節し、ロス率を最小限に抑える。</p> <p>② 鮮魚については、タンクに氷水を入れ鮮度を保ちアジについては鮮度保持用規格袋の中にアジ・氷水をいれ冷水温度を保つように努める。</p> <p>③ イワシシラスについては、1作業時間を短縮し、水揚するごとに氷で</p>
--------------	---

	<p>冷却し荷捌所まで運搬し鮮度保持に努める。</p> <p>④のり養殖については、漁期初めの魚の食害でのり生産ができない状況にある中、セット下に食害防止網を設置し、食害からのりを守るよう努力する。</p> <p>(2) 資源管理による生産量の拡大</p> <p>①アオリイカ産卵床と産卵用たこつぼ設置で水産資源増大を図る。</p> <p>②南浦地域漁業振興対策基金の協力でマダイ、ヒラメ等の有用種の放流で資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 地元消費の拡大</p> <p>①地元民宿、美菜恋来屋へ鮮魚等の出荷・販売を行い消費拡大に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①漁業者は、減速航行に努めるほか定期的な船底清掃を徹底する。</p> <p>②省エネ型漁船、省エネ機器の導入について検討する。</p> <p>③のり養殖業に、大型のり自動乾燥機の更新について検討する。</p> <p>(2) 漁業資材のコスト削減</p> <p>①漁業者が協力して、漁業資材のまとめ買い、組合施設等の共同利用をすることによりコスト削減を図る。</p> <p>(3) 漁業経営セーフティネット他加入促進</p> <p>①セーフティネット構築事業への加入を促進する。</p> <p>②漁獲共済積立プラスの加入を促進する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業後継者の育成と確保</p> <p>① 漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため兵庫県漁協青壮年部連合会等主催の活動への参加に努める。</p> <p>② 後継者対策について漁協を主体に漁業者と地域が一体となり人材確保に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器導入緊急支援事業</p> <p>漁業経営セーフティネット構築事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>漁業施設貸与事業</p> <p>漁業収入安定対策事業</p> <p>A L P S 処理の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業</p> <p>多核種除去設備等処理水風評影響対策事業</p>

2年目（令和7年度） 所得向上率（基準年比5.1%）

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の品質向上</p> <p>①漁獲物の品質向上について、活魚・鮮魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分類し、活魚のへい死がでないようブローアを入れ水温調節し、ロス率を最小限に抑える。</p> <p>②鮮魚については、タンクに氷水を入れ鮮度を保ちアジについては鮮度保持用規格袋の中にアジ・氷水をいれ冷水温度を保つように努める。</p> <p>③イワシシラスについては、1操業時間を短縮し、水揚するごとに氷で冷却し荷捌所まで運搬し鮮度保持に努める。</p> <p>④のり養殖については、漁期初めの魚の食害でのり生産ができない状況にある中、セット下に食害防止網を設置し食害からのりを守るよう努力する。</p> <p>(2) 資源管理による生産量の拡大</p> <p>①アオリイカ産卵床と産卵用たこつぼ設置で水産資源増大を図る。</p> <p>②南浦地域漁業振興対策基金の協力でマダイ、ヒラメ等の有用種の放流で資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 地元消費の拡大</p> <p>①地元民宿、美菜恋来屋へ鮮魚等の出荷・販売を行い消費拡大に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①漁業者は、減速航行に努めるほか定期的な船底清掃を徹底する。</p> <p>②省エネ型漁船、省エネ機器の導入について検討・整備する。</p>

	<p>③のり養殖業に、大型のり自動乾燥機の更新について検討・整備する。</p> <p>(2) 漁業資材のコスト削減</p> <p>①漁業者が協力して、漁業資材のまとめ買い、組合施設等の共同利用をすることによりコスト削減を図る。</p> <p>(3) 漁業経営セーフティネット他加入促進</p> <p>①セーフティネット構築事業への加入を促進する。</p> <p>②漁獲共済積立プラスの加入を促進する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業後継者の育成と確保</p> <p>① 漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため兵庫県漁協青壮年部連合会等主催の活動への参加に努める。</p> <p>② 後継者対策について漁協を主体に漁業者と地域が一体となり人材確保に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器導入緊急支援事業</p> <p>漁業経営セーフティネット構築事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>漁業施設貸与事業</p> <p>漁業収入安定対策事業</p> <p>A L P S 処理の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業</p> <p>多核種除去設備等処理水風評影響対策事業</p>

3年目（令和8年度） 所得向上率（基準年比7.1%）

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の品質向上</p> <p>①漁獲物の品質向上について、活魚・鮮魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分類し、活魚のへい死がでないようブローアを入れ水温調節し、ロス率を最小限に抑える。</p> <p>②鮮魚については、タンクに氷水を入れ鮮度を保ちアジについては鮮度保持用規格袋の中にアジ・氷水をいれ冷水温度を保つように努める。</p> <p>③イワシシラスについては、1操業時間を短縮し、水揚するごとに氷で冷却し荷捌所まで運搬し鮮度保持に努める。</p> <p>④のり養殖については、漁期初めの魚の食害でのり生産ができない状況にある中、セット下に食害防止網を設置し食害からのりを守るよう努力する。</p> <p>(2) 資源管理による生産量の拡大</p> <p>①アオリイカ産卵床と産卵用たこつぼ設置で水産資源増大を図る。</p> <p>②南浦地域漁業振興対策基金の協力でマダイ、ヒラメ等の有用種の放流で資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 地元消費の拡大</p> <p>①地元民宿、美菜恋来屋へ鮮魚等の出荷・販売を行い消費拡大に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①漁業者は、減速航行に努めるほか定期的な船底清掃を徹底する。</p> <p>②省エネ型漁船、省エネ機器の導入について検討・整備する。</p> <p>③のり養殖業に、大型のり自動乾燥機の更新について検討・整備する。</p> <p>(2) 漁業資材のコスト削減</p> <p>①漁業者が協力して、漁業資材のまとめ買い、組合施設等の共同利用をすることによりコスト削減を図る。</p> <p>(3) 漁業経営セーフティネット他加入促進</p> <p>①セーフティネット構築事業への加入を促進する。</p> <p>②漁獲共済積立プラスの加入を促進する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業後継者の育成と確保</p> <p>① 漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため兵庫県漁協青壮年部連合会等主催の活動への参加に努める。</p> <p>② 後継者対策について漁協を主体に漁業者と地域が一体となり人材確保に努める。</p>

活用する支援措置等	競争力強化型機器導入緊急支援事業 漁業経営セーフティネット構築事業 水産業強化支援事業 漁業施設貸与事業 漁業収入安定対策事業 ALPS処理の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 多核種除去設備等処理水風評影響対策事業 漁業施設貸与事業
-----------	---

4年目（令和9年度） 所得向上率（基準年比9.1%）

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の品質向上</p> <p>①漁獲物の品質向上について、活魚・鮮魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分類し、活魚のへい死がでないようブローアを入れ水温調節し、ロス率を最小限に抑える。</p> <p>②鮮魚については、タンクに氷水を入れ鮮度を保ちアジについては鮮度保持用規格袋の中にアジ・氷水をいれ冷水温度を保つように努める。</p> <p>③イワシシラスについては、1操業時間を短縮し、水揚するごとに氷で冷却し荷捌所まで運搬し鮮度保持に努める。</p> <p>④のり養殖については、漁期初めの魚の食害でのり生産ができない状況にある中、セット下に食害防止網を設置し食害からのりを守るよう努力する。</p> <p>(2) 資源管理による生産量の拡大</p> <p>①アオリイカ産卵床と産卵用たこつぼ設置で水産資源増大を図る。</p> <p>②南浦地域漁業振興対策基金の協力でマダイ、ヒラメ等の有用種の放流で資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 地元消費の拡大</p> <p>①地元民宿、美菜恋来屋へ鮮魚等の出荷・販売を行い消費拡大に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①漁業者は、減速航行に努めるほか定期的な船底清掃を徹底する。</p> <p>②省エネ型漁船、省エネ機器の導入について検討・整備する。</p> <p>③のり養殖業に、大型のり自動乾燥機の更新について検討・整備する。</p> <p>(2) 漁業資材のコスト削減</p> <p>①漁業者が協力して、漁業資材のまとめ買い、組合施設等の共同利用をすることによりコスト削減を図る。</p> <p>(3) 漁業経営セーフティネット他加入促進</p> <p>①セーフティネット構築事業への加入を促進する。</p> <p>②漁獲共済積立プラスの加入を促進する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業後継者の育成と確保</p> <p>① 漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため兵庫県漁協青壮年部連合会等主催の活動への参加に努める。</p> <p>② 後継者対策について漁協を主体に漁業者と地域が一体となり人材確保に努める。</p>
活用する支援措置等	競争力強化型機器導入緊急支援事業 漁業経営セーフティネット構築事業 水産業強化支援事業 漁業施設貸与事業 漁業収入安定対策事業 ALPS処理の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 多核種除去設備等処理水風評影響対策事業

5年目（令和10年度） 所得向上率（基準年比10.9%）

漁業収入向上のための取組	<p>(1) 漁獲物の品質向上</p> <p>①漁獲物の品質向上について、活魚・鮮魚を選別する際、魚種ごとにタンクを分類し、活魚のへい死がでないようブローアを入れ水温調節し、ロス率を最小限に抑える。</p> <p>②鮮魚については、タンクに氷水を入れ鮮度を保ちアジについては鮮度</p>
--------------	---

	<p>保持用規格袋の中にアジ・氷水をいれ冷水温度を保つように努める。</p> <p>③イワシシラスについては、1 操業時間を短縮し、水揚するごとに氷で冷却し荷捌所まで運搬し鮮度保持に努める。</p> <p>④のり養殖については、漁期初めの魚の食害でのり生産ができない状況にある中、セット下に食害防止網を設置し食害からのりを守るよう努力する。</p> <p>(2) 資源管理による生産量の拡大</p> <p>①アオリイカ産卵床と産卵用たこつぼ設置で水産資源増大を図る。</p> <p>②南浦地域漁業振興対策基金の協力でマダイ、ヒラメ等の有用種の放流で資源回復と漁獲量の増大を図る。</p> <p>(3) 地元消費の拡大</p> <p>①地元民宿、美菜恋来屋へ鮮魚等の出荷・販売を行い消費拡大に努める。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>(1) 省エネ活動等による省コスト化</p> <p>①漁業者は、減速航行に努めるほか定期的な船底清掃を徹底する。</p> <p>②省エネ型漁船、省エネ機器の導入について検討・整備する。</p> <p>③のり養殖業に、大型のり自動乾燥機の更新について検討・整備する。</p> <p>(2) 漁業資材のコスト削減</p> <p>①漁業者が協力して、漁業資材のまとめ買い、組合施設等の共同利用をすることによりコスト削減を図る。</p> <p>(3) 漁業経営セーフティネット他加入促進</p> <p>①セーフティネット構築事業への加入を促進する。</p> <p>②漁獲共済積立プラスの加入を促進する。</p>
漁村の活性化のための取組	<p>(1) 漁業後継者の育成と確保</p> <p>① 漁業後継者の育成と新規就業者のスキルアップを図るため兵庫県漁協青壮年部連合会等主催の活動への参加に努める。</p> <p>② 後継者対策について漁協を主体に漁業者と地域が一体となり人材確保に努める。</p>
活用する支援措置等	<p>競争力強化型機器導入緊急支援事業</p> <p>漁業経営セーフティネット構築事業</p> <p>水産業強化支援事業</p> <p>漁業施設貸与事業</p> <p>漁業収入安定対策事業</p> <p>A L P S 処理の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業</p> <p>多核種除去設備等処理水風評影響対策事業</p>

(5) 関係機関との連携

<p>取組の効果が十分に発言されるように、南あわじ市（水産振興課）、兵庫県淡路県民局（洲本農林水産振興事務所）、兵庫県水産技術センター、南浦地域漁業振興対策基金、兵庫県漁業協同組合連合会との連携を図る。</p>

(6) 取組の評価・分析の方法・実施体制

<p>浜プランの取組の成果を評価・分析するため、委員会は、南あわじ市水産振興課より1名を委嘱し、毎年年度末に開催する会員委員会において、委員会事務局が策定した自己評価案に対して審議・決定し次年度の取組の改善等に繋げる。</p>

4 目標

(1) 所得目標

漁業者の所得の 向上10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

サブ指標 (1)

低価格魚種 平均単価	サバ	基準年	令和2年度～令和4年度 3年平均	販売単価	222(円/kg)
		目標年	令和10年度	単価	228(円/kg)
	ハマチ	基準年	令和2年度～令和4年度 3年平均	販売単価	115(円/kg)
		目標年	令和10年度	単価	118(円/kg)
	スズキ	基準年	令和2年度～令和4年度 3年平均	販売単価	230(円/kg)
		目標年	令和10年度	単価	236(円/kg)
	チヌ	基準年	令和2年度～令和4年度 3年平均	販売単価	268(円/kg)
		目標年	令和10年度	単価	275(円/kg)
	ボラ	基準年	令和2年度～令和4年度 3年平均	販売単価	55(円/kg)
		目標年	令和10年度	単価	56(円/kg)
	グレ	基準年	令和2年度～令和4年度 3年平均	販売単価	192(円/kg)
		目標年	令和10年度	単価	197(円/kg)

サブ指標 (2)

新規漁業就業者数 の増加	基準年	平成30年度～令和4年度平均新規就業者数	1人/年
	目標年	令和6年度～令和10年度平均新規就業者数	2人/年

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>(1) 大量で安価な魚種を抽出して、各魚種に適した品質向上や販路拡大の取組により5年後には単価を2.5%向上させることを目指す。</p> <p>(2) 新規漁業就業者数は平成30年度1名、令和元年度0名、令和2年度0名、令和3年度1名、令和4年度3名（5年累計5名）となっている。漁業分野の人手不足の課題は就業者の高齢化です。当組合では、65歳以上の組合員は41%を占めており、今後は順次脱退していく状況にあるのが現状である。</p> <p>新規就業者を確保するためには、員外従事者に対して漁協加入の促進をし、令和6年度から10年度の平均新規就業者数を2名の増員を図る。</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	業内容及び浜の活力再生プランとの関係性。
競争力強化型機器導入緊急支援事業	生産性の向上や省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入することにより、漁業収入の向上を図り、漁業支出の低減を図る。

	⇒プランにおいて、漁業コスト削減のための取組を強化することを基本方針の一つとして挙げている。
漁業経営セーフティネット構築事業	<p>燃油高騰時の経費の増加に備えることにより、漁業支出の低減を図る。</p> <p>⇒プランにおいて、燃油高騰に備える事は基本方針の一部としている。</p>
水産業強化支援事業	<p>共同利用施設等の機能強化を通じて生産性の向上及び生産物の品質を向上させることで価値を高め、漁業収入の増大を図る。</p> <p>⇒プランにおいて、施設の機能強化は省コスト化に資する取組としている。</p>
漁業施設貸与事業	<p>新たに漁業を開始する者や新たな漁業種類を開始する者が使用する漁船などを漁協が取得し貸与することで、初期の漁業経営の安定を図る。</p> <p>⇒新規漁業就業者の確保の取組の一助となる。</p>
水産基盤整備事業	<p>魚礁・岸壁等の整備を推進することで、漁業資源の増大・漁家及び住民の生命財産の保護を図る。</p> <p>⇒</p>
漁業収入安定対策事業	<p>自然災害や予期せぬ不漁などの不慮の事故に備えることにより、漁業収入の安定を図り、漁業所得を確保する。</p> <p>⇒プランにおいて、漁業コストの削減のための取組に位置づけている</p>
A L P S 処理の海洋放出に伴う影響を乗越えるための漁業者支援事業	<p>省燃油活動等を通じた燃油コスト削減に向けた取組に対する支援。</p> <p>⇒プランにおいて、省燃油活動の取組を強化することを基本方針の一つとして挙げている。</p>
多核種除去設備等処理水風評影響対策事業	<p>風評影響を抑制しつつ仮に風評影響を生じた場合にも水産物の需要減少への対応を機動的・効率的に実施することにより、漁業者が安心して漁業を続けて行く取組支援</p> <p>⇒</p>